

「足立区デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」（案）に関する
パブリックコメントの実施結果及び意見に対する区の考え方について

1 パブリックコメントの状況

（1）実施期間

令和4年10月1日（土）から令和4年10月30日（日）

（2）意見提出数数・意見件数

ア 意見提出者数・意見件数 2名（3件）

イ 提出方法

（ア）区ホームページの意見受付フォーム 2名（3件）
（イ）FAX 0名
（ウ）郵送 0名
（エ）窓口への持参 0名

2 意見の構成

内容	件数
第1章 計画策定にあたって	0
第2章 これまでのICT化の歩み	0
第3章 計画の体系	0
第4章 計画推進のための取り組み	2
その他	1
合計	3

3 意見の概要及び区の考え方

No.	意見の概要	区の考え方
第4章 計画推進のための取り組み		
1	昨今の情報セキュリティ事故を見ると、悪意のハッカーによるシステム侵入よりも、職員として実務にあたっていた者が住民の個人情報を持ち出し、業者に売るという方が深刻なものとなっています。就業時の宣誓書の取得などはもちろんのこと、退職者検証や管理者権限を扱う者への検証、ログ検証、保存しているデータが盗まれていないことを確認する棚卸検証などは定期的に実行されるのでしょうか。	区では、個人情報を取り扱うコンピューターの操作について、複数の認証方法を組み合わせるとともに、退職情報と連動してIDを無効化する仕組みを導入し、不正な操作を防止しています。 また、住民基本台帳を中心とした基幹系システム群は、国の定めに基づき月次および年次でログの確認を実施しており、その他業務システムも同様に、システムの重要度に応じて適切な周期を定め点検しております。USBメモリーなどの外部記憶媒体の棚卸しも全庁的に実施し、情報漏洩や紛失がないか点検しております。 今後も技術的なセキュリティ対策に加え、ＩＴリテラシーを高める研修も併せて実施し、情報セキュリティの確保に努めて参ります。
2	デジタル難民（特にシニア）に対するレクチャーの機会を頻繁に講座や個別対応で支援（機種によって対応が違う事が多いのでスマホ会社への協力義務も）する事を要望します。	区では、キャッシュレス決済還元事業やマイナンバー申込に伴うサポート窓口をそれぞれ開設しております。今後も、主に高齢者を対象としたスマートフォン教室を地域学習センターなどで実施できるよう、準備を進めていきます。 あわせて、オンライン申請システムや、今後導入予定の窓口申請支援システム等については利用者の使いやすさを追求し、デジタルデバイドの解消に努めて参ります。 なお、民間の通信事業者もスマートフォンの使い方講座を独自で開催している現状もあり、区として各通信事業者へ講座の開催協力を義務付ける予定はありません。

No.	意見の概要	区の考え方
その他		
3	学習センターには多くのサークルもあり、高齢者の生きがいの場となっていること、また、こうした高齢者に端末操作に不慣れな方が多いことを考えると、施設の予約・キャンセルが簡単にできるよう、各学習センターにタッチパネルタイプのユーザーインターフェースの設置を提案します。	施設予約システムは、令和7年度以降に予定しているシステムの更新の際、オンライン決済・決済取消処理等の導入を検討しております。高齢者の方にも簡単に操作ができるようネット予約等の機能・操作性の開発を進め、ユーザーインターフェースを改善してまいります。 ご提案の施設窓口でのタッチパネルタイプの導入につきましては、用途、設置場所、費用対効果等の検討が必要と考えており、即時導入は困難です。

【参考】

パブリックコメントを提出できる区民・事業者以外の方からもデジタルデバйд解消、ワークショップ開催についてのご提案がありました。